

受験 番号		氏名	
----------	--	----	--

① 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

伝達の過程には、二つの類型が考えられる。一方から他方にメッセージを送って行う類のものと、メッセージのやりとりを行う類のものである。

メッセージを送るタイプの伝達は、左の図1に示すように一方向性をもったものである。これを線形型の伝達モデルと呼ぼう。

図1に沿って伝達の過程を説明しよう。いま庭にきれいな花が咲いていて、それを見て送り手(A)が感じたこと(伝えたかった意味)を受け手(B)と共有したいとする。そのままでは、これを伝えることはできないから、Aはその内容を何らかのメッセージにして表現する。たぶん、口で伝えるか、文章にして伝えるか、写真にして送る。この発話、文章、写真などに、ヘンカンする過程を符号化(コード化)といい、それを行う装置(頭やカメラ)を符号機という。符号化されたメッセージは何らかの物理的装置を通過してBに送られる。この装置は文章や写真の場合は郵便網(手紙や写真の場合)かインターネット網(電送写真の場合)である。メッセージが通過する装置をチャンネルと呼ぶ。

いまAが写真を郵便で送ったとしよう。Bはそれを受け取ってAが感じたことを復元する。この過程が復号化、それをする装置(この場合はBの頭)が復合機である。線形型の伝達はAの感情や意思をBが正確に復元して完了する。文章でいえば、この復号化の過程は理解の過程に相当する。線形型の伝達には次の過程と特徴がある。

過程

- ・ 送り手は感情や意思をコード化し信号(メッセージ)に変える(これをする装置が符号機)。
- ・ 信号(メッセージ)はチャンネルを通して受け手に送られる(チャンネルはメッセージが通過するのに使われる装置)。
- ・ 受け手は送られた信号(メッセージ)を復元し感情や意思を受け取る(これをする装置が復合機)。

特徴

- ・ 伝達はAからBへの一方向のもので、Bはメッセージの単なる受取人である。
- ・ メッセージの意味は送り手が決め、それはメッセージの中にある。

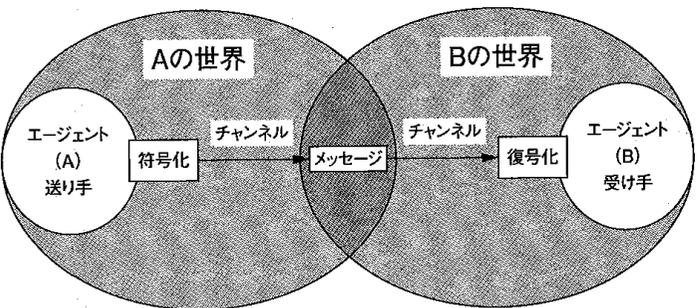


図1 線形型の伝達

③ R(受け取ったメッセージ) / S(送ったメッセージ) || 1(送ったもの) || 受け取ったもの(にならないときは、「エラー」が起こる)。

線形の伝達では個々のメッセージは独立していて、メッセージの意味はそれ自体の中にある。たとえば、二枚の写真を送ったとき、一枚目と二枚目の写真は伝達のうえで何の関係もなく、各メッセージの意味はそれぞれの復合化によって得られるものである。

R / S || 1にならないときは、過程のどこかで雑音(ノイズ)が入ったことを意味する。雑音とはメッセージをゆがめる。ゲンシヨウのことで、送り手から受け手のどこかの段階でメッセージに何かが入り込むことで発生する。たとえば、写真は不鮮明になってしまっている。これは符号機であるカメラの性能によってメッセージに雑音が入ってしまった結果である。電送写真ならチャンネルに入る雑音によって映像が乱れ写真の一部が消えてしまうことがある。プリントした写真についての指紋やシミは、送り手か受け手によってメッセージに入ってしまった雑音である。他の例でいえば、たとえば、電波妨害によって入った雑音によって、ラジオであれば音が割れ、テレビであれば映像が乱れてしまうことがある。

Bがメッセージを受け取ったことをAに伝える(フイードバックすると、線形型の伝達はA ↓ B ↓ A ↓ B ↓ … という ジユンカン型

